

# LIFE is ART

0歳児・1歳児・2歳児

## レジャーシートができるまで 2歳児



春におこなった親子交流会  
2歳児では親子でおにぎりづくりをしました

それが想像以上に楽しかった様子の子どもたち  
親子交流会後にクラスでおにぎりづくりを行うことになりました

2回ほどおにぎりづくりを楽しみ中  
「外でおにぎりが食べたい!」と生まれた気持ち  
それならば!とレジャーシートを作ろうと活動が繋がっていきました。

それぞれ、「〇〇色がいい!」と好きな色を選ぶ姿がとても印象的で成長を感じる瞬間でもありました。

## 感触遊び 2歳児



パン粉

袋に入ったパン粉はどんな音? カサカサ! シャカシャカ!  
袋から出すとパンのいい匂い! とみんなで匂いを嗅いでみる。

手で触ってみるとサクサクしている。

これは一体なんだろう...? と始まったパン粉遊び。

五感をフルに活用してパン粉を研究している姿が見られました。

途中で水を加えると、粘土のような質感に変化し、丸めてお団子を作って容器に盛り付けたり、角を切ったポリ袋に入れて絞り出して「へびみたい〜!」「クリームみたい!」と遊びはどんどんと盛り上がっていきました。食用色素で色付けてみると、色の混ざりを楽しみながら大きな塊になっている子もいました。

こねたり丸めたりして遊ぶ姿はまるでパン職人のようでしたよ。

## 春雨

乾燥したままの春雨を触ってみると、パリパリ! 硬い! もじゃもじゃ! と子どもたちの声が聞こえました。

水に浸して電子レンジで温めると...

ツルツル! にゆるにゆる! へびみたい! と乾燥している時との感触の違いに気づき、すっかりと春雨の虜になっていました。

手に沢山持ってもんでみたり、指先やフォークを使って容器に移し替えて遊ぶ姿が見られましたよ。

食用色素を入れるとピンクや青の鮮やかな春雨ができました。好きな色を容器に集めたり、友だちと色を交換して混ぜたりしながら2時間ほど遊びました。

遊び終えた春雨をミニボトルに詰めて持って帰るほど楽しい時間を過ごしました。

## 髭の保育士の写真館



今年度撮影してきた子どもたちの写真から、厳選した12枚を展示しました。

どれも印象的であり、ラゴらしいシーンを選びました。保育士だからこそ撮れる表情、情景、データではなく印刷された写真という作品ならではの良さを表現できたように感じます。

日常の写真とは別に、子どもたちが絵の具でアートした作品の一部をクローズアップして写真にした作品も展示をしました。生の作品には劣りますが、一部を切り取ることで作品のもつ味や色味の美しさ、模様の芸術性などを感じ取りやすくなったのではないかと思います。

私が写し、残した写真という作品に、一人でも多くの方が何らかの想いを感じていただけたら嬉しいです。



## ボンド de アート 2歳児



キャンパスは絵の具遊びをした後の大きなダンボール。どんぐりや枝などの自然物と様々な素材をアトリエに用意し、大きなキャンパスをアートしていきました。

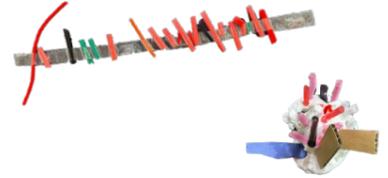
アトリエに並んだ素材を見ると「キラキラだ!」「ここにくっつけたい!」と子どもたちの創作意欲が湧いてきて、とたんに真剣な顔つきになりました。

スプーンでボンドをすくってダンボールに落とし、ぼてっとした塊ができると自分の気に入った素材を乗せてみたり、落ちた塊を伸ばしてスパンコルを散らしてみたりとそれぞれに面白さを見つながら楽しむ姿が見られました。

中でもボンドを垂らす感触が気に入り、3時間弱ボンドを垂らしている子もいたほどです。

素材や感触に夢中になると子どもたちの集中力は圧巻のもので、作品を乾かすのに約4日かかるほどの大作が出来上がりました。

## ハサミの世界 2歳児



4月。進級した子どもたちが最初に見つけた楽しいこと。それが、『ハサミを使うこと』でした。

憧れだったハサミに指を入れると、早速動かそうとする子どもたち。今まで大人たちが使っていたのを、そばで見えて覚えていたのでしょうか。何も教えずともなんとなく使っていることに驚きました。

じっくりじっくりと切り刻んだり、ハサミを通しては、1回ずつ切った跡が列をなしたり。ただ、『切る』ということが、子どもたちにとってそれはそれは面白い様子でした。

秋には切る素材にダンボールや稲包材、ストロー、モールを追加していくと、切りたい気持ちがさらに大きくなり、繰り返しハサミで切ることを楽しんでいました。

集めてきた破片たちはボンド、テープ、紙粘土と新たな素材を組み合わせ、最後に作品に仕上げました。

## こもれびクラス 0歳児



こもれびクラスでは、これまで日々の活動を通してたくさんの素材に触れてきました。

好奇心旺盛な子ども達は感触遊びが大好きで、新たな素材に出会う度に「これは何だ?」と積極的に手に取る姿が見られます。

大きな布遊びでは、身体が隠れることに気が付き、かくれんぼやいないいないばあが始まったり、木の実遊びでは、容器に入れて振るとカラカラ音が鳴ることに気が付き、いつの間にか音楽の時間になっていた。触れていくうちに形を変えて変化していく素材に、新たな遊びや世界がどんどん広がっていきます。

次はどんなことをして遊ぼうかな? とワクワクしながら今日もこもれびクラスは感触遊びを楽しんでいます。

## 感触遊びとは?

ドロドロ、ベタベタ、サラサラ、冷たい、温かいなどのいろいろな感触を手足で感じながら、握ったりちぎったり踏んだりすることです。手は第二の脳、足の裏は第二の心臓と言われるくらい大切で、手足を通して受け取る刺激によって五感を豊かに育て、脳の発達を促します。様々な感覚を知ること、0歳児保育では特に大切にされており、LABOでは積極的に感触遊びを取り入れています。

## 親子交流会 1歳児



一緒にアートを楽しんでもらいたい思いから、キャンパスアート=ファミリーアートを行いました。

アートのテーマは

「うまれてから今日までの子どもとの時間をカラーで表現しよう!!」毎日が仕事、育児、家事とあつという間にすぎる時間。

この日は、子どもが生まれた時はどんな気持ちだったかな?

今日までどんな日々だったかな? こんなことで遊んだな... など、

子どもとの時間を思い出しながら

その時の気持ちのカラーを選んでもらいました。

選んだカラーをキャンパスに垂らし、透明フィルムにのせた色を指先でツンツンしてみたり、足で踏んでみたり、背中ですすってみたりとアートの仕方も様々でした。

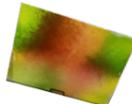
それぞれの色には

「初めて抱いた時の暖かさを赤色やオレンジで表現した」

「子どもが好きなおもちゃの色」

「子どものイメージからの色」

など、様々な気持ちが込められていることを聞き、暖かい気持ちに包まれた親子交流会の時間となりました。



## 様々な画材に触れて 1歳児



クレヨン、水性ペン、ドットマーカーペン、絵の具、色水など毎回画材を見つけると我先に!と手が伸び、「早くやりたい!」という気持ちがとても伝わってくる1歳児。

使い方が異なる様々な画材ですが、インクが飛び散るくらいに叩きつけてみたり、頭の中でイメージした物を言葉にしながらかき表したり、なぐり書きだった線から曲線が書ける様になり、そこから円が描ける様なる... この一枚一枚の絵にはそんな子どもたちの成長を感じとれることと思います。

絵を描くことが大好きな子どもたち。食べ物を思い浮かべたり身体に描いてみたり、心が満たされるまで思う存分楽しみまわっています。

大きなビニールシートを広げて活動していますが描き終えた後はシートの上にもたくさんの色が重なりそのまま飾っておきたいくらいアート作品になっています。

片付けてしまうのがもったいないほどです。彩られたこの絵画から、子どもたちが楽しんで向き合う姿を想像してご覧いただけると嬉しいです。

# LIFE is ART

3歳児・4歳児・5歳児

## 大山の写真



子どもたちがカメラで写した景色  
登頂を目指す子どもたちの姿

決して簡単ではない  
山に登るとのこと

年長児が挑んだ大山登山  
その記憶をここに

## しめ縄のオブジェ



年神様をまつるのにふさわしい神聖な場所だと示す『しめ縄飾り』  
大きな縄の輪の中に全員で入って、アートして遊んだこの日。  
それぞれの縄のカタチは、その子の気持ち良いカタチ。こだわったカタチ。  
塗られた色や、つけられた飾りは惹きつけられたものたち。  
また、穴あけパンチ・グルーガン・液状系のペンなどの道具は  
子どもたちの心をくすぐり、しめ縄飾りの横で遊びを派生させていく。  
遊びの中で生み出されたものを「縄の作品にくっつける？」  
と、たずねて返ってくる答えは  
「うん」もあれば「だじょうぶ」とお断りもある。  
『作品表現』と『遊ぶ』の境界線はひとりひとりの中にあるようでした。  
会場には皆で作った合同作品のしめ縄を展示していますので、ご覧ください。

## 流木をアートの



流木に揉まれて、形を変えてきた木  
その手触りや形に、その木が経過してきたであろうその時間を感じる。  
流木がもつ手触りや美しさは子どもたちを魅了し、  
イメージを刺激し、手を動かさせていく。  
自然のもつ力とは何と偉大なことか。  
指で塗り込んだ絵の具は、子どもたちの軌跡。  
組み合わせられた異素材は  
自分の「好き」に出会い、夢中になった痕跡。  
ひとりひとりゴールの違うアートから  
その子の世界を感じてみてください。

## べんがら染め



【べんがら染め】という方法を用いて、  
子どもたちが普段の遊びで使えるマントを作りました。  
べんがらとは土から採れて土に還る天然の染料のことで、  
排水や土壌に流しても土分解される環境にも人にも優しい染液です。  
布は染め始める前に、ビー玉を輪ゴムで縛り模様をつけました。  
好みの色に手を伸ばし浸してみると、色鮮やかに染まっていくマント。  
「ぎゅっぎゅっ」...揉んでみると、どんな色につき、  
揉み込む力も強くなっていきます。  
場所によって色を変えたり、色を重ねてみたり、夢中になる時間が流れました。  
しばらく時間を置いたのち、マントを広げると美しい色と模様浮かび上がり、  
「丸いのができてる!」「黄色くなった!」と驚きや喜びに満ちた表情を見せていました。  
スカートにしたり、布団にしたり。  
その時その時の願いを叶えてくれる、自分だけのマントが完成しました。

## 段ボールで遊ぶ



「段ボールでお家を作りたい」  
1人の「やってみよう」という想いから始まった段ボール遊び。  
ミロードさんからいただいた段ボールや資材は、  
お家だけでなくベッドや防犯カメラ、列車や冷蔵庫へと変身。  
「作ったものに色を塗ってみよう!」と絵の具も塗りました。  
「ここにはこの色が塗りたい!」と、作ったものが色鮮やかに彩られていき、  
手や足、身体に塗ってみたりと、絵の具の感触も楽しみました。  
そして作った段ボールのお家で食べた給食。  
「こっちも入っていいよ!」と招待する声飛び交う和気あいあいとした雰囲気の中、  
いつもと違う特別感を味わいました。  
製作をする中で見えた  
子どもたちが持っている豊かな発想  
それをどう形にしていこうか考える力。  
この展示を通して子どもたちが思い描いた世界をご堪能ください。

## 藍のたたき染め



種を植え、水をあげ、みんなで育てた藍の葉っぱ  
好きな葉を選び、好きな位置に模様をつける。  
ずっしりと重みを感じるカナヅチは叩くたびに大きな音を奏でる。  
「お祭りの太鼓の音みたいだね」  
子どもたちは鳴り響く音にも心を傾けながら、リズムよく叩いていく。  
カナヅチの当たり方によって、模様のつき方もいろいろ。  
どんな模様になったのか、テープを剥がす瞬間はワクワクの時。  
剥がしたテープに葉っぱがくっつく様子も面白がり、  
窓に貼る遊びは、毎年恒例の楽しみとして受け継がれています。

## みんなの夏祭り



「ラボで夏祭りができたら楽しそうだよね!」  
という大人のワクワクした気持ちから計画された夏祭り。  
子どもたちに提案してみると「おもしろそう!」  
と返事があり、対話を積み重ねながら  
お店に必要なものや看板の製作を始めました。  
「夏っぽいイメージなんだ」と赤と青のペンを使って作った【射的屋さんで倒す的】  
「目のところにモールつけたいの」とこだわりぬいた【お面屋さんのお面】  
梅・桃・赤紫蘇 子どもたち手作りの【かきごおりシロップ】  
みんなで塗って、飾り付けをした【お店の看板】  
想像を膨らませて作ったもの、「こうしたらどうなるんだろう?」と  
自分の心と会話をしながら作ったもの。  
子どもたちの想いが言葉となり、出てくる瞬間に出会えることもありました。

当日は浴衣や甚平を着て、みんなで盆踊り。  
普段はあまり踊らない子ども、夏祭りの楽しい雰囲気から、  
自然と笑顔になり踊る姿もありました。  
じっくり狙って...揺れ動く射的的。  
それぞれの個性が光る、色とりどりのお面。  
削られた氷にかけると、手作りシロップ。  
元気な声でお客様を呼び込む店員さん。  
KIDS SMILE LABO で初めて開催された夏祭り。  
みんなで作り上げ、みんなの想いが詰まった夏祭りでした。  
夏祭りの際の製作物を展示しましたので、ご覧ください。



## トイレトペーパー ×ねんどろん



普段はお尻とお友達のトイレトペーパー  
この日は全身でトイレトペーパーとお友達!  
ころがす ひきだす うもれる まかれる ながる ねころがる  
そしてたくさん遊んだトイレトペーパーは、ねんどろんに変身。  
まぜる こねる まるめる かたどる つめる  
「何ができたか」ではなく、「どんなふう遊び心動かしたか」を  
たくさん発見してみてください。

遊んだ絵本 『ねんどろん』作・荒井良二



## デカルコマニー



半分に折った紙。垂らした絵の具。  
パタンと閉じて、開いたら広がる偶然がつくる世界。  
あなたなら何を感じる?  
何が見える?  
子どもたちがつくった偶然と、湧き上がるイメージの世界を  
ここで一緒に味わってみてください。

## 光のオブジェ



身近にある光の話をイメージを広げたあとに制作した  
「自分だけの光」  
Kクレイ粘土の気持ちよさに魅せられた子  
図鑑を持ってきて、好きな生き物の形にした子  
松ぼっくりの位置を最後までこだわってつけた子  
気に入った素材をふんだんに詰めたり、貼り付けた子  
保育者を素材でぐるぐる巻きにして遊んだ子  
それぞれが自分の感覚に委ねて過ごしていました。  
また、光を当てることで出会う  
浮き上がる色や模様  
光は作品の違った表情を魅せてくれていました。  
それぞれの「個」が表れた唯一無二の光をぜひお楽しみください。

## みなそらだいち アーチ



子どもたちの写真で作られたアーチ。  
水面、大空、大地のみなが繋がることで、一つのクラス  
になっていることをアーチにして表現しました。  
このアーチは一人ひとりの写真を立体的に浮き出させ、そ  
の子に注目が集まるように工夫しました。  
文章にはその子のアートに対しての向き合い方や日々の生  
活で溢れるその子らしさを記しています。

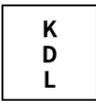
# LIFE is ART WORK SHOP

20日と27日の土曜日2日間は、ワークショップを開催いたしました。  
今回のワークショップは、厚木市に設計事務所を構える『KDL』様、いい人生を！をコンセプトに様々な活動を行っている合同会社『LIFE』様、そしてダンボール製造会社の『ハココ』様と一緒にしました。  
様々な素材を組み合わせ、次々とアートを生み出す様子やダンボールハウスに入りのびのびとアートを楽しむ姿がとても印象的な時間となりました。可愛いダンボール犬のプーパーもやってきて、子どもたちの人気を集めていましたよ。  
頂いた絵本は今後保育園でも子どもたちと楽しませていただきます。沢山のご参加、ありがとうございました。

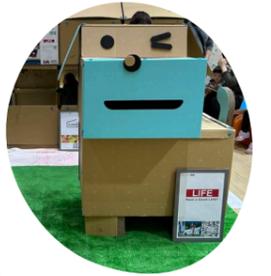
## ダンボールハウスに アートを楽しもう！

## プーパー絵本交換会

with **LIFE** 

with    

絵本とマーブルクレヨンの  
交換をしたよ！



様々なペンに、面白い形のダンボール片  
小さなアーティストたちが  
大きなダンボールハウスを彩りました！

## アンケートより

### Q 印象に残った展示を教えてください

みんなの夏祭りでは、こどもたちがやりたいことを実現できたことを写真とのお面、看板があわさって、皆がワクワクしていた気持ちが伝わってきました。段ボール遊びも日常の姿が垣間見れて、皆で一生懸命作って”思いっきり遊ぶ！楽しむ！”ができて私も混ざりたくなりました。(笑)  
きこちゃん(アート講師)との製作も、また違った表情を見せてとても素敵でした。展示数もたくさんあり見応え抜群でした！  
幼児 保護者

入り口に入ってアーチをくぐり抜けると1歳児クラスの天井からの大きな展示が目飛び込んで来て、それがとても印象的でした。  
2歳児 保護者

どの展示も素晴らしいかったです。特に1歳児クラスの紙1面に描かれた作品が迫力があって見応えがありました。上から吊り下げられていたこともあり、上の階からも見えるので、展示の仕方もよかったです。  
1歳児 保護者

### Q ご意見ご感想をお聞かせください

毎年工夫をこらした素敵な展示をありがとうございます！今年は、ダンボールハウスが用意されていて、見るだけでなく、参加もできてより楽しめました。夢中になりすぎてなかなか帰れなかったのが難点ですが(笑)  
お家ではなかなかお絵描き等はしないのですが、ラボでは楽しんでいるようで普段と違う一面も垣間見れて興味深かったです。  
準備が大変だったと思いますが、素敵な空間をありがとうございました。  
1歳児 保護者

どれもすごく面白かったです。  
この展示に感謝します！  
60代

どの学年の作品も全く目線や角度、表現が異なっていて、どれもその年齢の子たちの精一杯の表現が施されていて、見ていてとても楽しかったです。  
0歳児 保護者

心が洗われました。  
これからがんばってください。  
60代 音楽関係者

Life is art 展盛り沢山の内容でした！  
子どもたちの色々な表情に包まれながら、子どもたちの一瞬一瞬の心の動きが反映された作品を沢山みることができて感動しました。なんだか子どもたちの心の中の景色をみているかのような空間でした。忙しい中、ラボの先生たちが合間を縫って準備を重ねてくれたんだなあと、胸一杯になりました。本当にありがとうございました。  
(母や叔母も、展示写真や作品から、ラボの子たちののびのびした姿や自由な感性が伝わってきて、感動したと言っていました。)  
幼児 保護者

今年もラボらしい内容で楽しく作品を見る事が出来ました。みなも、あおぞら、だいちのアーチをくぐると子ども達の写真が沢山あって、ラボの中に入り込んだ気持ちになりました。会場に行く前にインスタライブも観れたので、各クラスの担任の先生方の思いを聞いた上で見れたことも良かったです。そのうえで2歳児クラスの展示の見せ方も面白いと感じました。先週、ラボのお迎えの時にふくちゃんが「間に合うかしらー？笑」と言いながら作っていた展示品がチラッと見えたので、その時は「どんなものになるのかなー？」と思っていましたが、子ども達が会場の中央でパネルになって、落ち葉のうえで遊んでいるような作りになっていたのが可愛らしかったです。先生方も保育業務の中の作業、お疲れ様でした。来年も楽しみにしています。  
1歳児 保護者

レジャーシートをつくっておにぎりを外で食べたい！  
を叶えてくれるのはまさにラボ！ですね。 幼児 保護者

入ってすぐ左の額縁に入った絵の具の絵でしょうか？  
8つくらいあり、全て色味が綺麗で本当に保育園児が作ったの?!と驚きました。  
1歳児 保護者

自分も保育をしていて、子どもたちの自由な発想・気持ちを大切にしたいと日々思っていますが、こなさなければならぬプログラムにも追われ、もどかしい日々です。でも、展示を見て、やっぱり自分は子ども主体にして沢山のことを一緒にしてと改めて思いました。大人のしがらみに負けずに楽しみます！！  
20代 保育関係者

普段の娘がリアリティ感あり、設置してくれた先生の想いを感じられた。観に行っても感動しました。  
0歳児 保護者

その日その日に作った作品とそれぞれの想いが展示されることによって違う表情を見せてくれたように思います。  
また、こどもたちがやりたいことを実現しようとしてくれる先生方の熱い想いに圧巻されました。こんなに素敵に展示して下さりありがとうございました。とっても楽しめました。ミロードにあることにより祖父母や叔母も行って来たようで、息子も喜んでいました。  
幼児 保護者